

UOEH

University of Occupational and
Environmental Health, Japan

DPC公開データの分析

2014/1/18 大阪府立成人病センター

産業医科大学公衆衛生学教室

村松圭司

本日の内容

- DPC公開データを活用する
 - DPC公開データの入手方法
 - DPC公開データを分析用に加工する
 - DPC公開データ分析ツールを作成する
- DPC公開データの経営戦略への応用
 - DPC公開データ分析ツールから
 - S W O T 分析
 - 戦略の立案
 - K P I の設定



自前解析のメリット

(なぜ自前解析をやるべきか?)

- 大きな流れへの対応
 - 政策誘導への対応
 - 臨床指標の公開等に向けての基礎体力
- 自院の経営判断支援
 - 地域における自院のポジショニングを視覚化・裏付け（公開データで可能）
 - 興味のある疾患について、興味のある視点で、
 - ちまたに情報は溢れているが、視点は画一的で自院の課題に合っていないことも

声：「公開データのページが見つけない」
 Ans：この順で進めれば必ず見つかります。



公開データ入手

- 平成25年度第7回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 議事次第
- <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html>

– ホーム <http://www.mhlw.go.jp/>

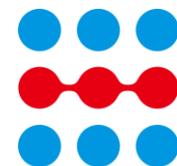


- 政策について
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/index.html>
- 審議会・研究会等
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/indexshingi.html>]
- 中央社会保険医療協議会
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008ffd.html>
- 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織（DPC評価分科会）
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008ffd.html#shingi128164>
- 平成25年度第7回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 議事次第



| | | | | | |
|------------------|------------------------------------|--|---|--------------------|----------------------|
| 平成25 年第7 回 | 2013年9月 20日 (平成25年9 月20日) | 1. 平成24年度退院患者調査の結果報告について(案) 2. 平成25年度特別調査(ヒアリング)の実施について(案) 3. 臨床研修制度への影響評価について(案) 4. 今後の検討事項とスケジュールについて(案) 5. DPC制度(DPC/PDPS)に係るこれまでの検討状況について(中間報告(案)) 6. その他 | - | 資料 | 開催案内 |
|------------------|------------------------------------|--|---|--------------------|----------------------|

公開データ一覧



(会議資料：「DPC導入の影響評価に関する調査結果」) UOEH

| 回数 | 開催日 | URL | 公開期間 | |
|------------|------------|---|----------|-------|
| 平成25年度 第7回 | 2013年9月20日 | http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html | 平成24年4月～ | 12ヶ月間 |
| 平成24年度 第5回 | 2012年8月21日 | http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002hs9l.html | 平成23年4月～ | 12ヶ月間 |
| 平成23年度 第9回 | 2011年11月7日 | http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001u23a.html | 平成22年7月～ | 9ヶ月間 |
| 平成22年度 第3回 | 2010年6月30日 | http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/06/s0630-7.html | 平成21年7月～ | 6ヶ月間 |
| 平成21年度 第3回 | 2009年5月14日 | http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/05/s0514-6.html | 平成20年7月～ | 6ヶ月間 |
| 平成20年度 第1回 | 2008年5月9日 | http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/05/s0509-3.html | 平成19年7月～ | 6ヶ月間 |
| 平成19年度 第1回 | 2007年6月22日 | http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/06/s0622-7.html | 平成18年7月～ | 6ヶ月間 |
| 平成18年度 第3回 | 2006年12月6日 | http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/12/s1206-6.html | 平成18年7月～ | 2ヶ月間 |
| 平成18年度 第1回 | 2006年4月27日 | http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/04/s0427-3.html | 平成17年7月～ | 4ヶ月間 |
| 平成17年度 第3回 | 2005年11月4日 | http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/11/s1104-4.html | 平成17年7月～ | 2ヶ月間 |

声：「公開データが第何回資料にあるかわかりにくい。
また公開期間はいつからどのように変わったのか？」

Ans：資料は確かに見つけにくいです。公開期間は上記です。

DPC導入の影響評価に関する調査：集計結果

http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/database/sinryo/dpc_b.html#link02



ホーム

- > [政策について](#)
- > [分野別の政策一覧](#)
- > [健康・医療](#)
- > [医療保険](#)
- > [医療保険データベース](#)
- > [DPC導入の影響評価に関する調査](#)
- > [集計結果](#)



文字サイズの変更 標準 大 特大

ご意見募集やパブリックコメントはこ

テーマ別を探す 報道・広報 **政策について** 厚生労働省について 統計情報・白書 所管の法令等

[ホーム](#) > [政策について](#) > [分野別の政策一覧](#) > [健康・医療](#) > [医療保険](#) > [医療保険データベース](#) > [DPC導入の影響評価に関する調査](#) > [集計結果](#)

DPC導入の影響評価に関する調査：集計結果

■ 集計結果

■ 利用上の注意

各年次報告に調査方法等の記載有り

■ 統計表一覧

■ 【年次報告】

「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要

[平成23年度](#) [平成22年度](#) [平成21年度](#) [平成20年度](#) [平成19年度](#) [平成18年度](#)

声：「みつけるのが面倒です。まとめて掲載しているサイトはありませんか？」

Ans：「データのみをまとめた厚労省サイトはありませんが、平成18年度以降の調査公開ページへのリンクがはられているページがあります。（16年、17年調査へのリンクは掲載されていません。）」

（※H24年度は現時点ではリンクなし）

まず分析に用いるファイル

- 最も分析しやすいファイル
 - (4) 救急車による搬送の有無 医療機関別・M D C別集計 (Excel : 868KB)
 - <http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12404000-Hokenkyoku-Iryouka/0000023556.xls>

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|---|----------|-------------|--------------------------|-------|--------------------------|-------|--------------------------|-----|--------------------------|
| 1 | | | | | | | | | |
| 2 | | | 01 | | 02 | | 03 | | |
| 3 | 告示 番号 | 施設名 | よ 救 る 急 搬 車 送 に | 合 計 | よ 救 る 急 搬 車 送 に | 合 計 | よ 救 る 急 搬 車 送 に | 合 計 | よ 救 る 急 搬 車 送 に |
| 4 | 1 | 札幌医科大学附属病院 | 116 | 635 | - | 1,217 | 10 | 470 | 4 |
| 5 | 2 | 北海道大学病院 | 105 | 727 | - | 1,188 | 11 | 615 | 5 |
| 6 | 3 | 旭川医科大学病院 | 137 | 565 | - | 1,191 | - | 520 | 5 |
| 7 | 4 | 弘前大学医学部附属病院 | 189 | 561 | - | 713 | 10 | 492 | 3 |
| 8 | 5 | 岩手医科大学附属病院 | 290 | 1,011 | - | 1,728 | 23 | 763 | 11 |
| 9 | 6 | 東北大学病院 | 141 | 1,195 | - | 1,654 | 12 | 780 | 5 |

MDC

主要診断群 (Major Diagnostic Category)

| |
|--------------------------------|
| MDC01 : 神経系疾患 |
| MDC02 : 眼科系疾患 |
| MDC03 : 耳鼻咽喉科系疾患 |
| MDC04 : 呼吸器系疾患 |
| MDC05 : 循環器系疾患 |
| MDC06 : 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患 |
| MDC07 : 筋骨格系疾患 |
| MDC08 : 皮膚・皮下組織の疾患 |
| MDC09 : 乳房の疾患 |
| MDC10 : 内分泌・栄養・代謝に関する疾患 |
| MDC11 : 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患 |
| MDC12 : 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩 |
| MDC13 : 血液・造血器・免疫臓器の疾患 |
| MDC14 : 新生児疾患、先天性奇形 |
| MDC15 : 小児疾患 |
| MDC16 : 外傷・熱傷・中毒 |
| MDC17 : 精神疾患 |
| MDC18 : その他 |

声：「公開データにあるMDCとは？」

Ans：「診断群分類（DPC）を臓器別にまとめた大分類（当初13分類）で、現在は診療科の観点も踏まえ18分類あります。ちなみにDPCの精緻化（臨床実態に即した改善）は各MDC毎に関連専門医学会が参加して不断の取り組みが進められています。」

エクセルによる編集

(4) 救急車による搬送の有無 医療機関別・MDC別集計 (Excel)

1. 見出し行を一行にして、ラベル名を変更
2. 総救急入院・総入院件数の合計を追加
3. “-” (10症例未満の意味) を“0”に置換
4. 施設住所を追加
5. 県データ抜き出し (フィルタ)

本日の配布資料に加工済みの
ファイルが同梱されています

→ 完成した解析用ファイル : **H24TQ_OSK.xls**

声 : 「今までの実施した加工は？」

Ans : 「上記5つです。これで解析用の事前配布データ『救急車による搬送』が完成しました。」

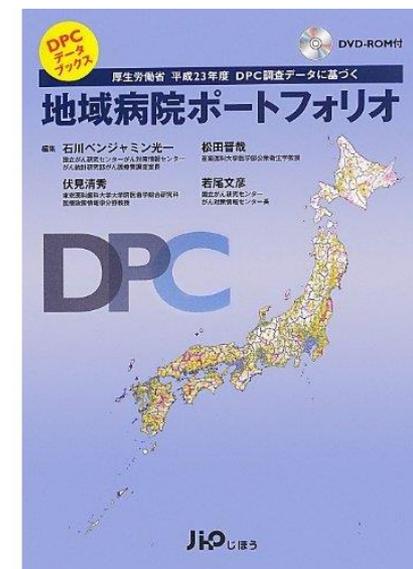
加工した公開データによる分析

- 大阪市医療圏において
 - 患者数TOP 3 の医療機関は？
 - 救急搬送患者数TOP 3 の医療機関は？
 - 呼吸器領域（MDC04）の救急搬送患者受け入れ実績TOP 3 医療機関は？
- 大阪府立成人病センターの
 - 最も患者数の多いMDCは？
 - 最も救急搬送患者の多いMDCは？



そのほかの公開データ分析

- MDC別悪性腫瘍件数（全体・手術有）
- DPC 6桁・手術フラグ別患者数及び在院日数
- 二次医療圏別MDC別患者移動推計
- 地理情報システム（GIS）を用いた分析
- 分析の方法・視点は無数にある



SWOT分析とは

- 強み(**S**trengths) : 目標達成に貢献する組織（個人）の特質。
- 弱み(**W**eaknesses) : 目標達成の障害となる組織（個人）の特質。
- 機会(**O**pportunities) : 目標達成に貢献する外部の特質。
- 脅威(**T**hreats) : 目標達成の障害となる外部の特質。

SWOT分析とは

- 強み(**S**trengths) : どのように強みを活かすか？
- 弱み(**W**eaknesses) : どのように弱みを克服するか？
- 機会(**O**pportunities) : どのように機会を利用するか？
- 脅威(**T**hreats) : どのように脅威を取り除く、または脅威から身を守るか？

SWOT分析を行う際の注意点

- いかなるSWOT項目も早期に取り除かないこと
 - ありきたりのことやちいさなことでも重要な戦略を生み出すことがある
 - 重大で深刻（だと思っている）問題でも戦略に結びつかなければSWOTとしてはさほど重要ではない

SWOT分析の1例（大学病院のがん診療領域）

強み（S）

- 大学病院であるため中央診療部門が充実している
- 化学療法センターが充実している
- 腫瘍を対象とした外科部門が強い
- 基礎医学部門におけるがん研究のレベルが高い
- 臨床疫学の専門家が多い（質の高い治験の実施）
- 初期研修医は少ないが、後期研修で半数以上の卒業生が大学に戻ってくる
 - がんの診療体制が充実
 - 社会医学系の教室が自治体の健診事業を支援している

弱み（W）

- 診療間の連携が弱い
- 地域の医療機関との連携が不足している
- 定数削減圧力が強く中堅医師が残りにくい構造
- 病院経営の専門事務職が不足している
- 地域で突出した医療機能がない
- 地域のがん検診受診率が低い

機会（O）

- 高齢化に伴いがん患者が増加している
- がんに対する高度医療のニーズが高まっている
- 診療の人口約120万人に対して、総合的にがん診療を行っている施設は自院を含めて3つしかない
 - 地域内の急性期病院の多くが医師不足のため、診療科目の制限を行うようになっている
 - 市内にある唯一の大学病院である

脅威（T）

- 隣接する大都市圏に2つの大学病院を含め多くの急性期病院がある
 - DPCによるデータ公開及びマスメディアによる診療実績が公開されることで、隣接する大都市圏及び中央の急性期病院へのがん患者の流出が生じている
 - これまでがん診療を担ってきた3つの病院以外に、循環器で有名な病院ががん診療の実績を伸ばしつつある
 - 市内の民間病院の一つが、新築移転を期にがん診療を中心とした医療内容に転換し、当院からも多くの医師が引き抜かれている

クロス分析

- 「強み」「弱み」「機会」「脅威」をクロスさせ対応すべき課題を抽出する



クロス分析の方法

| | O ①…, ②…, ③…, | T ①…, ②…, ③…, |
|-----------------------------|--------------------------------------|--|
| S ①…, ②…, ③…, … | 「強み」によって「機会」を最大限に活用するために取り組むべきことは何か？ | 「強み」によって「脅威」による悪影響を回避するために取り組むべきことは何か？ |
| W ①…, ②…, ③…, … | 「弱み」によって「機会」を逃さないために取り組むべきことは何か？ | 「弱み」と「脅威」により最悪の結果となることを回避するために取り組むべきことは何か？ |

KPI

- key performance indicator
（重要業績評価指標）
- 企業目標やビジネス戦略を実現するために設定した具体的な業務プロセスをモニタリングするために設定される指標（業績評価指標：performance indicators）のうち、特に重要なもの。

4つの視点について

企業のビジョンを達成するための戦略シナリオを明確にするための分類方法

- **財務**の視点：「財務的業績の向上のために、株主に対してどのように行動すべきか」
 - 具体的指標（K P I）
 - 売上高
 - 利益
 - E V A（経済付加価値）
 - R O E（株主資本利益率）
 - 売上高利益率
 - 資本回転率
- **顧客**の視点：「戦略を達成するために、顧客に対してどのように行動すべきか」
 - K P I
 - 顧客満足度
 - 顧客定着率
 - 対象市場におけるマーケットシェア（市場占有率）
 - 新規顧客獲得数
 - クレーム発生率
- **業務（内部）プロセス**の視点：「株主と顧客を満足させるために、どのような業務プロセスに秀でることが求められているか」
 - K P I
 - 開発効率
 - 在庫回転率
 - 生産リードタイム
 - 改善施策提案数
- **学習と成長**の視点：「戦略を達成するために、どのようにして変化と改善のできる能力や環境を維持するか」
 - K P I
 - 資格保有率
 - 従業員満足度
 - 新技術開発数
 - 特許出願数などの社員の能力開発

公開データではできないこと

- コストに関する分析
 - 自院のDPCデータ（様式1, D/E/Fファイル）の活用が必須
- 詳細なベンチマーク分析
- コンテキストに即して行う分析
 - 各医療機関での分析を推奨する主たる理由
- これらを組み合わせてより良い地域医療構築のために行政・医療機関参加の議論を